



第172号

(昭和52年2月・3月)

目次

学長告辞	1
関係法令	2
学内規則	2
富山大学大学院工学研究科規則の一部改正	2
富山大学入学者選抜方法研究委員会規則の一部改正	3
富山大学名誉教授称号授与規則の一部改正	3
富山大学学長選考基準の一部改正	4
富山大学学長選考基準細則の一部改正	4
諸会議	5
人事異動	5
学内諸報	6
教育学部長の改選	6
薬学部長の改選	6
海外渡航者	6
学位取得者	6
永年勤続表彰	6
学内レクリエーション	6
R連盟富山地区大会	7
職員消息	7
主要日誌	7

昭和51年度卒業証書授与式学長告辞

昭和51年度富山大学学部及び短期大学部卒業証書並びに専攻科修了証書及び大学院修士学位記授与の式典が、本学名誉教授の御臨席と多数御父兄方の御参列のもとに盛大厳粛に行われましたことを心から感謝するものでございます。

卒業生、修了生1,102名の諸君は、青雲の志しみ難く、笈を負って本学に学び、ここに螢雪の功なり、高い教養と高度の学問技術を修得せられ、いよいよ明日より変動苛烈な実社会に出て活躍されるのでありますが、その前途洋々として光輝あることを祈念して止みません。

いまや我国は、内外の社会情勢の急激な変化のため、かつてない大きな困難に直面しております。自然界の法則に背いた高度成長が、あるいは近視眼的な技術革新の悪影響が、資源の不足、環境の破壊、公害などの諸問題を招いたことは否定できません。

これが根本的解決のためには、産業構造の転換を図ると同時に、社会科学、人文科学の観点から人間の生存という基本的な問題に真剣に取り組む心要があることはいうまでもありません。

しかし、ここで何よりも我々が反省しなければならないことは、エネルギー資源ばかりでなく人間性までも燃焼させ、猪突猛進してきた日本人あるいは日本社会の在り方そのものであると考えます。

戦後、デモクラシーの名のもとで再建された日本社会は、真のデモクラシーが育む余裕もなく、急速な発展を遂げました。最近の欧米諸国における日本製品の締め出し、東南アジアに進出している日本商社の在り方に対する批判は、他人のジャンルを著しく侵害していることにあるといわれています。“己の人権を尊重するとともに、他人の人権を尊重する”のがデモクラシーであり、“自分さえよければ他人はどうなってもよい”というのは逆立ちしたデモクラシーといわざるを得ません。

いずれにしても、このような激動の時代に社会人となる諸君の苦勞は並大抵ではありませんが、日本古来の美德である謙虚、奥床しさを取りもどし、他人のジャンルを犯すことなく、それぞれの分野で全力で頑張っていたきたい。地位や名誉、金に焦ることなく、社会の風潮に左右されることなく、自覚と真実をもって生き抜いて欲しいものです。

2500年前釈迦は真実の誠を訓し、親鸞もまた真心こそ人間の一大事であると教えています。親鸞は“ひとは一代にいかなる巨万の財産を作っても、それは一生相添わざるものにて候、結局は愛欲と我執にとらわれ、濁った水の泡を抱いているようなはかなきものに候”と諭しております。

日本の美しい自然と、伝統ある文化のなかに生を享け、日本の情緒と品格をそなえ世界一の教育環境に成人した諸君は、天地自然の恩を感じ、親の恩を思い兄弟友人と仲良く交わる感謝の生活こそ大切であります。

朝夕、雄大な立山を仰ぎながら大学生活を送ってきた諸君は、巖として大地に聳え立つ雄峯のごとく、いかなる逆境、いかなる困難や環境の変化にも動じない不動心をもって毅然として進んでいただきたい。

「青山元不動 白雲自去来」する態度こそ肝要です。

いやしくも、いささかの社会的変化や混乱に、生きる道を失うようなことがあってはなりません。与えられた仕事に私心を離れて没入努力するところに生甲斐を見出し、奉



仕の精神が生れてくるものと存じます。

希くは、健康に注意され、安定した21世紀をめざす先駆的役割を指向して、日常の生活に精進されんことをお願いして学長告辞といたします。

昭和52年3月19日

富山大学長 林 勝次

関係法令

(官報掲
載月日)

政 令

- 勤労者財産形成促進法施行令の一部を改正する政令(38) 3・29
- 日本学校安全会法施行令の一部を改正する政令(43) 3・30
- 予算決算及び会計令の一部を改正する政令(45) 3・31
- 国立大学の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令(62) 3・31

- 国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令(63) 3・31

省 令

- 納入告知書及び納付書の様式の特例に関する省令(大蔵3) 3・5
- 学校基本調査規則の一部を改正する省令(文部1) 3・17
- 日本学校安全会法施行規則の一部を改正する省令(同5) 3・31

規 則

- 俸給の特別調整額の一部を改正する規則(人事院9-17) 3・3
- 職員の任免の一部を改正する規則(同8-12) 3・8
- 行政職俸給表(一)の8等級の官職等への任用候補者名簿による職員の任用に関する特例等の一部を改正する規則(同8-13) 3・8
- 管理職員等の範囲の一部を改正する規則(同17-0) 3・10
- 職員の災害補償の一部を改正する規則(同16-0) 3・31
- 災害を受けた職員の福祉施設の一部を改正する規則(同16-3) 3・31
- 補償及び福祉施設の実施の一部を改正する規則(同16-4) 3・31

告 示

- 納入告知書及び納付書の様式の特例に関する省令に規定する歳入徴収官及び分任歳入徴収官を指定する件(大蔵14) 3・5
- 国立の義務教育諸学校の災害共済給付契約に係る児童又は生徒についての共済掛金の額のうち、その保護者等から徴収する額を定める等の件(文41) 3・31

学 内 規 則

富山大学大学院工学研究科規則の一部改正

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和52年3月11日

富山大学長 林 勝次

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院工学研究科規則(昭和42年5月19日制定)の一部を次のように改正する。

この規則中「および」を「及び」に、「もしくは」を「若しくは」に、「行なう」を「行う」に改める。

別表 工業化学専攻の項中

「 | 燃 料 化 学 特 論 | 4 | 」 の次に 「 | 有 機 工 業 化 学 特 論 | 2 | 」 を 加 え

「 環 境 化 学 特 論 2	を	「 有 機 合 成 化 学 特 論 4	に、
有 機 化 学 特 論 2		有 機 化 学 特 論 2	
有 機 合 成 化 学 特 論 4		」	
「 分 析 化 学 特 論 4	を	「 無 機 工 業 化 学 特 論 2	に
応 用 物 理 化 学 特 論 4		表 面 処 理 特 論 2	
物 理 化 学 特 論 2		応 用 物 理 化 学 特 論 4	
」		物 理 化 学 特 論 2	
		環 境 化 学 特 論 4	
		分 析 化 学 特 論 2	」

改め、同表機械工学専攻の項中

「 | 弾 性 学 特 論 第 二 | 2 | 」 の次に 「 | 熱 弾 性 学 特 論 | 2 | 」 を加える。

附 則

- 1 この規則は、昭和52年4月1日から施行する。
- 2 昭和51年度以前の入学生については、なお従前の例による。

富山大学入学者選抜方法研究委員会規則の一部改正

富山大学入学者選抜方法研究委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和52年3月11日

富山大学長 林 勝次

富山大学入学者選抜方法研究委員会規則の一部を改正する規則

富山大学入学者選抜方法研究委員会規則（昭和39年12月18日制定）の一部を次のように改正する。

第2条の見出し「（所掌事務）」を「（目的）」に改める。

第3条（見出しを含む。）を次のように改める。

（構成）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 学 長
- (2) 各学部長及び教養部長
- (3) 各学部及び教養部から選出された教授 各2名
- (4) 学生部長

2 前項第3号の委員は、学部長又は教養部長の推薦に基づき学長が命ずる。

3 第1項第3号の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第4条中「当てる」を「充てる」に改める。

第6条第1項中「おいて必要と認めるときは、」及び「ことができる」を削り、同条第4項を次のように改める。

4 専門委員は、委員会に出席し、その調査研究の成果を報告するものとする。

附 則

この規則は、昭和52年3月11日から施行する。

富山大学名誉教授称号授与規則の一部改正

富山大学名誉教授称号授与規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和52年3月12日

富山大学長 林 勝次

富山大学名誉教授称号授与規則の一部を改正する規則

富山大学名誉教授称号授与規則（昭和33年4月25日制定）の一部を次のように改正する。

この規則中「または」を「又は」に、「および」を「及び」に改める。

第1条及び別紙称号記様式中「学校教育法第68条の2」を「学校教育法第68条の3」に改める。

附 則

この規則は、昭和52年3月12日から施行する。

富山大学学長選考基準の一部改正

富山大学学長選考基準の一部を改正する基準を次のとおり制定する。

昭和52年3月31日

富山大学長 林 勝次

富山大学学長選考基準の一部を改正する基準

富山大学学長選考基準（昭和28年5月28日制定）の一部を次のように改正する。

この基準中「および」を「及び」に、「行なう」を「行う」に、「または」を「又は」に、「すみやかに」を「速やかに」に、「おく」を「置く」に、「行ない」を「行い」に改める。

第3条中「学部長および教養部長」を「学部長、教養部長、附置研究所長及び保健管理センター所長」に改める。

第5条中「学部長および教養部長」を「学部長、教養部長及び附置研究所長」に改める。

第6条を次のように改める。

第6条 委員は、各学部、教養部の教授会で選出された教授各4名及び附置研究所の教授会で選出された教授2名とする。

附 則

この基準は、昭和52年3月31日から施行する。

富山大学学長選考基準細則の一部改正

富山大学学長選考基準細則の一部を改正する細則を次のとおり制定する。

昭和52年3月31日

富山大学長 林 勝次

富山大学学長選考基準細則の一部を改正する細則

富山大学学長選考基準細則（昭和28年10月2日制定）の一部を次のように改正する。

この規則中「おく」を「置く」に、「および」を「及び」に、「行なう」を「行う」に、「ならびに」を「並びに」に改める。

第4条第1項から第3項までを次のように改める。

第4条 管理委員会の委員（以下「管理委員」という。）は、各学部教養部及び附置研究所より選出された評議員各1名をもつて充てる。

2 学部又は教養部選出の管理委員に事故あるときは、その学部又は教養部選出の他の評議員がその職務を代行する。

3 管理委員が、学長候補適任者に選定されたときはその職を退くものとする。ただし、当該委員が学部又は教養部から選出された者であるときは、その学部又は教養部選出の他の評議員がこれに代るものとする。

第8条中「学部長および教養部長」を「学部長、教養部長、附置研究所長及び保健管理センター所長」に改める。

第9条中「教養部および附属図書館」を「教養部、附置研究所及び附属図書館」に改める。

第12条中「学部長および教養部長」を「学部長、教養部長、附置研究所長及び保健管理センター所長」に改める。

第13条中「本部ならびに各学部および教養部」を「本部、各学部、教養部及び附置研究所」に改める。

附 則

この細則は、昭和52年3月31日から施行する。

諸 会 議

昭和51年度第10回評議会（2月18日）

〔報告事項〕

- (1) 昭和52年度富山大学大学院薬学研究科及び工学研究科（修士課程）第二次入学試験合格者の判定について

〔審議事項〕

- (1) 昭和52年度富山大学文学専攻科，理学専攻科及び経済学専攻科入学者選抜試験合格者の判定について
- (2) 入学式について
- (3) 教官人事について
- (4) 富山大学教官定員振替減について

昭和51年度第11回評議会（3月11日）

〔報告事項〕

- (1) 昭和51年度富山大学大学院薬学研究科及び工学研究科（修士課程）修了者の認定について
- (2) 学生の懲戒について

〔審議事項〕

- (1) 富山大学大学院工学研究科規則の一部改正について
- (2) 富山大学入学者選抜方法研究委員会規則の一部改正について
- (3) 教官人事について
- (4) 昭和51年度卒業及び修了者の認定について
- (5) 昭和52年度富山大学教育専攻科入学者選抜試験合格者の判定について
- (6) 入学試験の実施について
- (7) 人文学部及び理学部創設準備について
- (8) 学長選挙について

昭和51年度第12回評議会（3月31日）

〔審議事項〕

- (1) 昭和52年度富山大学入学者選抜試験合格者の判定について
- (2) 学士入学について
- (3) 富山大学学長選考基準の一部改正について
- (4) 富山大学学長選考基準細則の一部改正について
- (5) 学長選考管理委員会等について
- (6) 教官人事について

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	発令前の所属官職	異 動 内 容	発 令 者
採用	52. 3. 1	内 多 美 樹		文部技官(薬学部)	富山大学長
併任	52. 3. 31	坂 井 誠 一	教授(教育学部)	評議員併任解除	文 部 大 臣
	"	坂 井 誠 一	" (")	教育学部長(期間52.3.31~54.3.30) 評 議 員(期間 ")	"
	"	今 津 藤 一	" (")	評議員(期間52.3.31~52.5.31)	"
辞職	52. 3. 1	木 村 三 郎	技術補佐員(経理部主計課)	辞 職	富山大学長
	"	内 多 美 樹	事務補佐員(和漢薬研究所)	"	"
	"	半 田 三 保 子	" (附属図書館)	"	"
	52. 3. 31	澤 井 悦 子	教頭(教育学部附属幼稚園)	"	文 部 大 臣
	"	森 田 弘	教諭(教育学部附属小学校)	"	富山大学長
	"	島 田 芳 一	" (教育学部附属養護学校)	"	"
	"	小 室 博	文部事務官(経済学部)	"	"
退職	52. 3. 1	増 山 厚 子	事務補佐員(教養部)	52. 2. 28限り退職	富山大学長
	52. 3. 31	荒 川 規 子	" (施設課)	52. 3. 30限り退職	"
	"	田 盛 一 枝	臨時用務員(教育学部)	"	"
	"	諏 訪 京 子	事務補佐員(")	"	"
	"	渋 谷 志 津 子	" (工学部)	"	"
	"	寶 達 悦 子	教務補佐員(")	"	"

学内諸報

教育学部長の改選

酒井康彦教育学部長の任期が昭和52年3月30日で満了するため、学部教授会は2月23日次期学部長候補者の選挙を行い、坂井誠一教授を選出した。

坂井教授は、昭和13年3月東京帝国大学文学部国史科を卒業、引き続き同大学大学院を同15年4月修了、同18年5月富山県立富山高等学校教授、同24年6月富山大学文学部助教授、同39年10月教育学部教授となり今日に至っている。

専門は日本近世史で、多数の著書、論文がある。

文学博士、富山県出身

薬学部長の改選

志甫博逸薬学部長の任期が昭和52年4月1日で満了するため、次期学部長候補者の選挙が2月17日に行われた。その結果、柳田友道教授が選出された。

柳田教授は昭和15年3月東京帝国大学医学部薬学科を卒業、直ちに海軍薬剤科士官(薬剤少佐)として服役、同20年10月同大学に復帰、同大学助手、同28年1月千葉大学教授(腐敗研究所)、同37年7月東京大学教授(応用微生物研究所)、同43年11月同研究所長及び同大学評議員を歴任し、同50年4月富山大学薬学部教授となり今日に至っている。

専門は微生物生理生態学。「微生物生理学」、「赤潮」「生物のかたち」等の著書がある。

理学博士、茨城県出身

海外渡航者

氏名	所属	官職	渡航の種類	渡航先国	目的	期間
小林 貞作	文理学部	教授	外国出張	オーストラリア、ニュージーランド	第3回アジア大洋州国際育種学会議出席と大洋州における遺伝学の研究視察	52. 2.10 52. 2.26
藤井 昭二	教養部	教授	外国出張	オランダ、フランス、ベルギー、西ドイツ、スウェーデン、イギリス、アメリカ	後氷期の海水準変動と沖積層その他第四紀地質学の研究	52. 2.20 53. 2.15

学位取得者

取得者 教育学部 教授 坂井 誠一

取得学位 文学博士(法政大学)

取得年月日 昭和52年3月25日

学位論文 加賀藩改作法の研究

取得者 教育学部 助教授 中井 学

取得学位 工学博士(北海道大学)

取得年月日 昭和52年3月25日

学位論文 複合形状面の流体潤滑特性

取得者 教育学部 助教授 山地 啓司

取得学位 教育学博士(東京大学)

取得年月日 昭和52年2月9日

学位論文 酸素運搬系からみた全身持久性の運動生理学の解明

取得者 工学部 助教授 島崎長一郎

取得学位 工学博士(東京工業大学)

取得年月日 昭和52年2月28日

学位論文 尿素、チオ尿素及びその誘導体の熱分解に関する研究

永年勤続表彰

本年4月1日付で退職される薬学部事務長桜井雅楽氏に対し、昭和52年3月31日学長室において、本学勤続35年の表彰状並びに記念品が贈呈された。

学内レクリエーション

▶囲碁大会

実施月日 2月19日(土) 13時

場所 職員ホール

入賞

A級 優勝 金坂 績(文理学部)

次勝 狐塚 寛(薬学部)

3位 平岩 廣一()

B級 優勝 土肥 隆三(学生部)

次勝 松山 政夫(文理学部)

3位 荒屋 克子()

C級 優勝 高田 正道(教養部)

次勝 山淵 龍夫(工学部)

3位 岩城 広光(文理学部)

▶ボーリング大会

実施月日 2月24日(木) 17時30分

場所 トヤマゴールデンボール

入賞 優勝 高木 行則(経理部)

次勝 松下 甚清 (和漢薬研究所)
3位 堀 利秋 (経理部)

▶卓球大会

実施月日 3月5日(土) 13時
場 所 小体育館
入 賞 優勝 工学部Aチーム
次勝 薬学部・和漢薬研究所Aチーム
3位 工学部Bチーム

▶将棋大会

実施月日 3月26日(土) 13時
場 所 職員ホール
入 賞
A班 優勝 豊本 勉 (工学部)
次勝 榎本 三郎 (薬学部)
3位 能手 哲治 (工学部)
B班 優勝 高木 行則 (経理部)
次勝 柏木 寛 (薬学部)
3位 尾山 吉昭 (工学部)

R連盟富山地区大会

▶ボーリング大会

実施月日 2月26日(土) 13時30分
場 所 トヤマゴールデンホール
入 賞
団体戦 優勝 富山大学Aチーム
3位 富山大学Bチーム
個人戦 優勝 土肥 隆三 (学生部)
次勝 川上 重信 (教育学部)

▶囲碁大会

実施月日 3月26日(土) 13時
場 所 富山県民会館
入 賞 本学入賞者なし

職 員 消 息

〈住所変更〉

文 理 学 部

教 授 本田 弘
助 手 金森 寛

教 育 学 部

助 教 授 渡邊 英二
講 師 奥村 義雄

文部事務官 今江 秀男

経 済 学 部

助 教 授 増田 信彦

薬 学 部

文部事務官 平岩 廣一

教 養 部

事務補佐員 高見 町子

附 属 図 書 館

文部事務官 岩永 晴雄

経 営 短 期 大 学 部

講 師 榑原 英男

主 要 日 誌

本 部

- 2月3日 学務関係事務打合せ会
- 4日 国家公務員給与等実態調査説明会 (於 国立金沢病院)
- 10日 富山大学構内交通対策委員会
- 12~21日 昭和52年度富山大学入学願書受付
- 14日 第7回事務協議会
- 18日 第2回大学院委員会
第10回評議会
- 19日 学内囲碁大会
- 22日 学園ニュース編集委員会
- 24日 学内ボーリング大会
- 25日 昭和52年度入学者選抜方法研究委員会 (第4回)
及び入学試験管理委員会 (第6回)
- 26日 昭和51年度R連盟富山地区ボーリング大会
- 3月5日 学内卓球大会
- 7日 第7回補導協議会
- 8日 第8回事務協議会
- 11日 第3回大学院委員会
第11回評議会
- 16日 第8回補導協議会
- 18日 第1回教養部運営協議会
国立大学協会第3・第4常置委員会 (於 学士会分館)
- 19日 昭和51年度富山大学卒業証書授与式 (於 富山市公会堂)
- 23~24日 昭和52年度富山大学入学者選抜試験

- 26日 学内将棋大会
昭和51年度R連盟富山地区囲碁大会
- 29日 第9回事務協議会
- 29~31日 第8回春季北信越学生弓道大会（於 富山
県営錬成館）
- 31日 第12回評議会

文 理 学 部

- 2月3日 服務関係事務調査
- 8日 選考委員会（解析学）
- 9日 文学専攻科，理学専攻科入学者選抜試験
教授会
人事教授会
文学科教官会議
- 16日 教授会
人事教授会
人文学部，理学部各創設準備会
- 19日 後学期授業終了
- 21日 専攻科入学合格者発表
- 23日 教授会
人事教授会
- 24日 人文学部創設準備会
- 3月2日 人文学部創設準備会打合せ会
- 8日 理学部創設準備会打合せ会
文学科懇話会
- 9日 教授会
人事教授会
- 10日 入学生志願者調査書審査
- 17日 教授会
人文学部，理学部各創設準備会
入学生試験打合せ会
- 18日 理学部長候補者選挙管理委員会
- 22日 人文学部長候補者選挙管理委員会
- 23~24日 昭和52年度入学者選抜試験
- 31日 教授会

教 育 学 部

- 2月4日 服務関係事務調査
附属小学校入学児抽選及び合格発表
- 5日 附属養護学校入学児合格発表
- 6日 附属中学校入学試験
- 9日 人事教授会
附属幼稚園入園児抽選及び合格発表

- 10日 附属中学校入学生抽選及び合格発表
- 16日 人事教授会
教務委員会
- 23日 教育学部長候補者選挙
- 25日 入学試験検討委員会
日本教育大学協会附属学校検討委員会（於 東
京学芸大学）
- 26日 教育専攻科入学者選抜試験
- 28日 日本教育大学協会第二部会常任理事会（於 東
京学芸大学）
日本教育大学協会第二部会理事会・部門代表者
会議合同会議（於 東京学芸大学）
- 3月2日 教授会
教務委員会
補導委員会
教務・補導合同委員会
- 8日 人事教授会
- 9日 教務・補導合同委員会
教授会
- 15日 附属幼稚園卒園式
- 16日 附属小学校卒業式
- 17日 教授会
附属中学校卒業式
附属幼稚園修業式
附属養護学校卒業式
- 22日 附属小学校修業式
附属中学校修業式
附属養護学校修業式
- 23~25日 昭和52年度入学者選抜試験
- 26日 附属学校運営委員会
- 31日 教授会

経 済 学 部

- 2月8日 学部図書委員会
- 9日 第15回教務委員会
第13回教授会
- 14日 第16回教務委員会（持ち回り）
- 15日 第14回教授会（持ち回り）
- 16日 コンピューター機種選定委員会
- 18日 専攻科入学合格者発表
- 19日 後学期授業終了
- 21~23日 後学期補講
- 24日~3月5日 学期末試験
- 3月2日 第10回人事教授会

- 5日 入試健康診断書審査
 7日 入試調査書審査
 8日 学部補導委員会
 9日 第17回教務委員会
 第11回人事教授会
 第15回教授会
 19日 卒業祝賀会（商工会議所10階ホール）
 23～24日 昭和52年度入学者選抜試験（於 富山中部
 高校）
 31日 第18回教務委員会
 第16回教授会

薬学部

- 2月3日 薬学研究科委員会
 教授会
 8～9日 大学院薬学研究科第二次入学者選抜試験
 9日 薬学研究科委員会
 12日 志甫教授最終講義
 14日 薬学会生化学講演会
 後学期授業終了
 17日 学部長候補者選挙
 教授会
 18日 大学院薬学研究科第二次合格者発表
 21日 大学院検討委員会
 薬草園運営委員会
 大学院後学期授業終了
 22～23日 大学院修士論文発表
 3月1日 大学院検討委員会
 9日 薬学研究科委員会
 教授会
 人事教授会
 15日 薬学研究科委員会
 18日 教授会
 19日 卒業記念祝賀会

工学部

- 2月7日 専任教授会（持ち回り）
 8～9日 大学院工学研究科第二次入学者選抜試験
 14日 事務連絡会議
 16日 教授会
 専任教授会
 工学研究科委員会

- 18日 大学院工学研究科第二次合格者発表
 23日 専任教授会（持ち回り）
 23～26日 大学院修士論文口頭発表
 3月1日 後学期授業終了
 5日 学部補導委員会
 7日 事務連絡会議
 9日 教授会
 工学研究科委員会
 専任教授会
 10日 連合大学院学内打合せ会
 14日 連合大学院学内打合せ会
 17日 教授会
 入学試験打合せ会
 23～24日 昭和52年度入学者選抜試験（於 高岡工業
 高校ほか）
 25日 専任教授会（持ち回り）
 31日 教授会

教養部

- 2月2日 教授会
 9日 教授のみの教授会
 教授会
 16日 後学期授業終了
 22～28日 学期末試験
 3月1日 教務委員会
 補導委員会
 2日 教授のみの教授会
 教授会
 9日 教授のみの教授会
 17日 紀要委員会
 教授会

和漢薬研究所

- 2月1日 第14回教授会
 3日 薬学研究科委員会
 7日 和漢薬シンポジウム世話人会（於 大阪大学）
 服務関係事務調査
 9日 薬学研究科委員会
 薬学部・研究所連絡会
 16日 第1回和漢薬研究所セミナー
 講師 大塚恭男 演題「漢方医学と近代医学」
 21日 薬草園運営委員会

- 23日 特別定期健康診断
- 24日 第15回教授会
- 3月8日 第16回教授会
- 9日 薬学研究科委員会
- 15日 臨時教授会
薬学研究科委員会
第2回和漢薬研究所セミナー
講師 津田喜典 演題「日本産Lycopodium属
植物のChemotaxonomy」
- 23日 持ち回り教授会

附属図書館

- 2月1日 服務関係事務調査
- 21日 事務打合せ

経営短期大学部

- 2月2～8日 学期末試験
- 12～21日 昭和52年度入学願書受付
- 17日 教授会（第13回）
- 19日 学生と教職員懇談会
- 26日 推薦入学者選考試験
- 28日 教授会（第14回）
- 3月2日 第4回入試委員会
入学志願者調査書審査
- 4日 編入学書類審査
- 5日 入学志願者健康診断書審査
- 8日 編入学者選抜試験
教授会（第15回）
- 13日 昭和52年度入学者選抜試験
教授会（第16回）
- 17日 教授会（第17回）
入学合格者発表

編集 富山大学庶務部庶務課
 富山市五福3190
 印刷所 第一共同印刷株式会社
 富山市太郎丸1220-2
 電話 ㊦0196(代)